

野田市自転車等駐車場指定管理者候補者 選定委員会(フォローアップ)会議録概要

開催日時	平成30年2月9日(金) 午前10時15分から午前10時45分まで
開催場所	野田市役所5階 512会議室
出席委員	副市長(委員長)、総務部長(副委員長)、企画財政部長、行政管理課長、 管財課長、市民生活部長、市民生活課長
欠席委員	無し
事務局	市民生活課、行政管理課

1 開会

<委員長より開会の言葉>

2 議事

平成29年度(4月～12月)野田市自転車等駐車場業務報告書及び平成30年度野田市自転車等駐車場業務計画書の審査について

<事務局より平成29年度(4月～12月)野田市自転車等駐車場業務報告書及び平成30年度野田市自転車等駐車場業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

・業務報告書

○緊急マニュアルの見直し内容について教えてほしい。

→ 仕様書では、「野田市震度4以上の場合は、速やかに被害状況を確認し報告すること。」により、開場時は指定管理者が対応していた。しかし、仕様書には閉場時の対応に具体的な記載がなかったことから市役所職員による被害状況の確認を行っていた。

29年度に、緊急マニュアルの連絡先の修正と合わせて閉場時の対応について協議を行い、「閉場時も含めて対応する」に変更し、閉場時における緊急マニュアルの見直しをした。

○機械警備において、発報して現場に急行することはなかったか。現場に急行する体制はできているのか。また、グループ会社で情報の共有がメリットとあるが、具体的にはどのようなことがメリットになるのか。

→ 機械警備は梅郷駅に導入されており、警報が鳴り駐輪場に急行したことはない。もし警報が鳴った場合は、委託先(野田市山崎)の警備事務所から急行することになる。

グループ会社による情報共有のメリットは、各施設の業務日報、修繕状況や定期点検等の情報及び作業履歴等が事務所の端末等で確認することができ、急行時

には迅速に対応することができる。

○1回目の被害の際に現金の被害又は回数券、一時利用券、定期利用シールの被害はなかったか。また、1回目の被害にあった際、回数券等を施設場所に移動したとあるが、2回目はその場所の被害はなかったのか。

→ 5月19日の1回目の事務所荒らしの被害状況は、事務所出入口扉の破壊、事務機の引出しと書庫扉の破壊等で、個人情報等の書類をはじめ、回数券、一時利用券、定期利用シールの被害はなかった。

6月4日の2回目の事務所荒らしの被害状況は、事務所出入口扉の破壊、耐火金庫の盗難と金庫内の現金9,580円、ワイヤー切断用カッター等の被害はあったが、移して保管していた個人情報等の書類をはじめ、回数券、一時利用券、定期利用シールのあった場所は施錠されており被害はなかった。

なお、耐火金庫の盗難対策として、金庫が建物から離れないようにアンカー留め工事を実施した。

○一般管理費が予算より大幅に減少する理由を教えてください。

→ 募集時の積算内訳に対し、人件費の単価が上がっているため、およそ800千円を一般管理費から人件費に移行している。そのため、800千円ほど減となった29年度予算における一般管理費の内訳は、AEDのリース料90千円、自主事業の梅郷駅東口市営駐輪場のLEDへの交換550千円のほか、マネージャー経費1,200千円を含む利益や諸経費を計上し3,308千円となっている。

決算見込が大幅に減少している理由は、AEDリース料、自主事業の梅郷駅東口市営駐輪場のLED交換工事などの請負差金もあるが、主な要因は、マネージャー経費が本社都合により実績から除かれていることに加え、会社の利益、経費も実績から除かれているためである。

○月極レンタサイクルについて、利用者の感想等が分かったら教えてください。

→ 利用者の感想等については、管理員に確認したところ「特にはない」とのことであった。参考までに、問い合わせ時に一番多かった内容は、「一日単位」で借りられると便利との声があった。

○月極レンタサイクルは7件延べ11か月分の利用があったとあるが、どのような方が利用しているのかわかる範囲で教えてください。

→ 2月1日現在、利用件数8件、延べ12か月分の利用があった。

主な利用者は工業団地利用者で、他には自転車が悪くて購入するまでの間に利用する人もいた。利用者の性別は男性3名、女性5名で、年齢は書類の記載内容にないため不明だが、若い人の利用が多かった。

・業務計画書

○利用者アンケートの実施方法について、より多くの意見を伺うために、新たに工夫する点や改善する点があったら教えてほしい。

→ 28年度からアンケートの実施方法を、定期更新時期に合わせて実施したため、回収率が前年度と比較して梅郷駅、川間駅の各駐輪場で約2倍、野田市駅においては約10倍となった。

更なるアンケートの回収率向上としては、利用者に用紙を渡してすぐに記入してもらうことが重要だと考え、そのために、特に定期利用者には更新手続の時間を活用して、「短時間で回答できます。簡単な質問だけです。」など一言添えるなどして、利用者に記入してもらえるよう努めていく。

○レンタサイクルの増車は考えているのか。また、利用者の声で「一時利用」の要望があったが、事業者が他で運営している施設で「一時利用」を行っていることから、同様に「一時利用」する予定はあるか。

→ 2月1日現在、全3台稼働している。今回初めて全3台稼働したことから、このままの稼働状況が続くようであれば増車を検討していく。

なお、レンタサイクルは事業者が応募時に提案した自主事業である。そのため当面の間は月極で運用したいと事業者は考えている。

<審議の結果>

(委員長)

平成29年度(4月～12月)野田市自転車等駐車場業務報告書及び平成30年度野田市自転車等駐車場業務計画書について承認

3 閉会